Creative Enzymes®

ネイティブポーシン・クレアチン・ホスホキナーゼ

Cat. No. NATE-1869

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	クレアチンホスホキナーゼ（CPK）は広く分布しており、主に収縮および輸送システムとともにATP再生に関与しています。この酵素は二量体であり、三つのアイソザイム形式（MM（筋肉）、MB（心臓）、BB（脳））で存在します。ウサギの筋肉からのCPKの分子量は81,000です。ハイブリッドアイソザイム（MB）は心筋において最も高い濃度を持っています。したがって、このアイソザイムの血清CPKレベルの測定は、心筋梗塞の診断のための敏感な指標として使用されています。心臓手術直後の患者の血清中でCPKのBBアイソザイムのレベルが上昇していることが報告されています。血清中のCPK-BBレベルは、手術後4日目までに正常に□りました。これは、心臓患者における血清CPK-MBアイソザイムのレベルよりも、より敏感な診断ツールである可能性があります。
別名	EC 2.7.3.2; ATP:クレアチンホスホトランスフェラーゼ; CK; CPK; MM-CK; MB-CK; BB-CK; クレアチンキナーゼ; クレアチンホスホトランスフェラーゼ; ホスホクレアチンキナーゼ; アデノシン三リン酸-クレアチン転移リン酸化酵素; Mi-CK; CK-BB; CK-MM; CK-MB; CKMiMi; MiMi-CK; 9001-15-4; クレアチンキナーゼ

製品情報

種	豚の
由来	豚の心臓
形態	フリーズドライ粉末
EC番号	EC 2.7.3.2
CAS登□番号	9001-15-4
純度	0.95
活性	>300 U/mg タンパク質
溶解度	蒸留水または希釈バッファ
単位定義	pH 6.9および25°Cで、ホスホクレアチンからADPに1マイクロモルのリン酸を転送する酵素の量。

保管・発送情報

保存方法	-20° Cで保管してください